

地方創生に関するアンケート調査 単純集計 速報（案）

令和元年 月

射水市

1 調査の概要

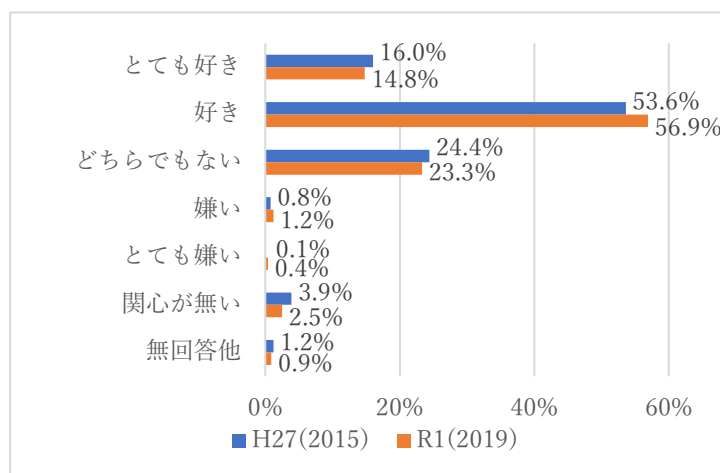
	市民アンケート	学生アンケート	高校3年生 アンケート
調査対象	・射水市内に居住する満18歳以上の市民 3,500人（無作為抽出） ※前回（H27.6） 満20歳以上40歳未満の市民 2,000人	・射水市内の高等教育機関（富山県立大学、富山高等専門学校、富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校）に在籍する学生 650人 ※前回（H27.6） 500人	・射水市内に居住する満18歳の市民（高校3年生世代）300人（無作為抽出） ※前回（H27.6） 300人
調査方法	・アンケート調査票を郵送で配布し、同封の返信封筒にて回収	・市から各校へアンケート調査票の配布・回収を依頼	・アンケート調査票を郵送で配布し、同封の返信封筒にて回収
調査期間	・令和元年8月～9月	・令和元年9月～10月	・令和元年8月～9月
配布数	3,500票	650票	300票
回収数	1,302票 ※前回（H27.6） 870票	610票 ※前回（H27.6） 411票	90票 ※前回（H27.6） 131票
回収率	37.2% ※前回（H27.6） 43.5%	93.8% ※前回（H27.6） 82.2%	30.0% ※前回（H27.6） 43.7%

2 調査の結果

(1) 市への愛着度

- ・市民アンケートにおける「とても好き」、「好き」の回答は71.7%。

図 1-1 市への愛着度（市民）



- ・高校生アンケートにおける「とても好き」、「好き」の回答は83.3%。
- ・学生アンケートにおける「とても好き」、「好き」の回答は37.6%。

図 1-2 市への愛着度（高校生）

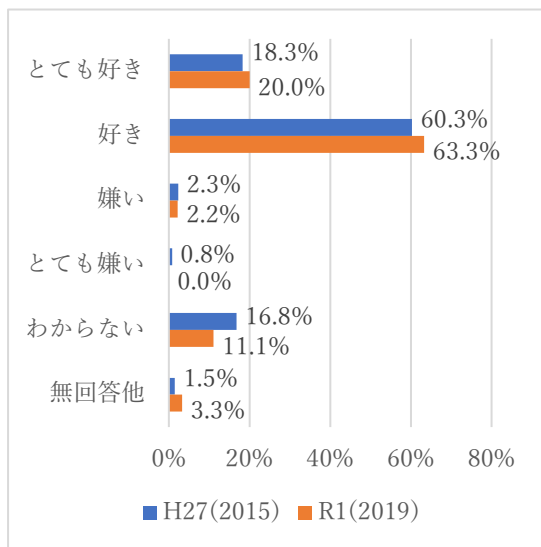
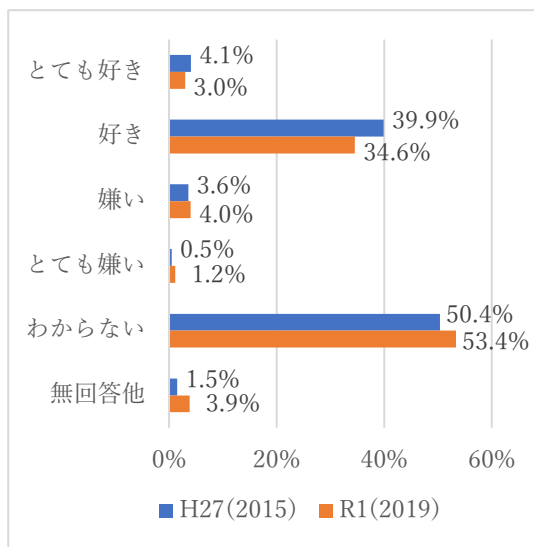


図 1-3 市への愛着度（学生）



(2) 住み心地

- ・市民アンケートにおける「とても住み良い」、「住み良い」の回答は79.7%。
- ・高校生アンケートにおける「とても住み良い」、「住み良い」の回答は80.0%。
- ・学生アンケートにおける「とても住み良い」、「住み良い」の回答は63.5%。

図 2-1 住み心地（市民）

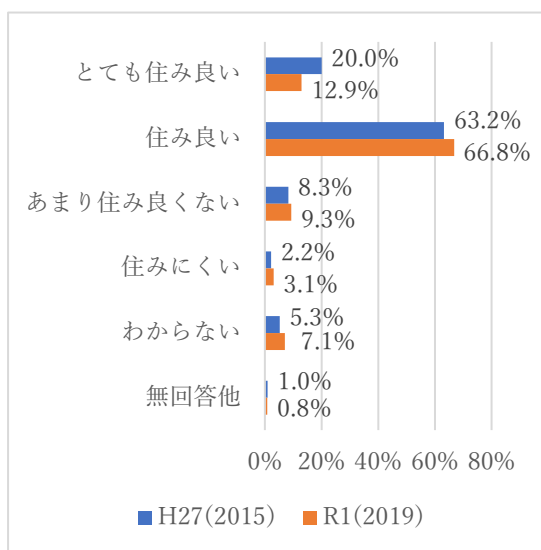


図 2-2 住み心地（高校生）

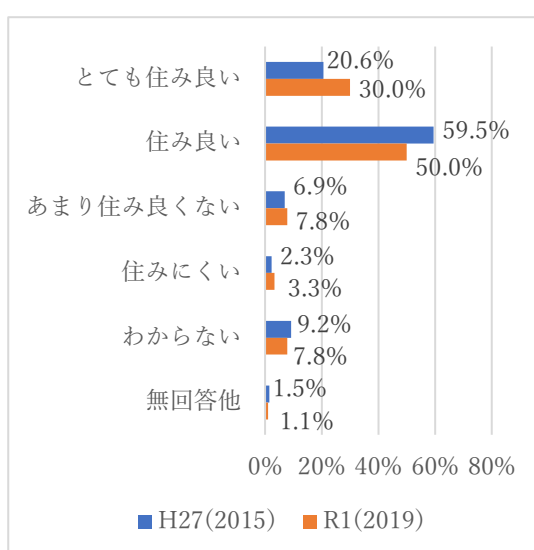
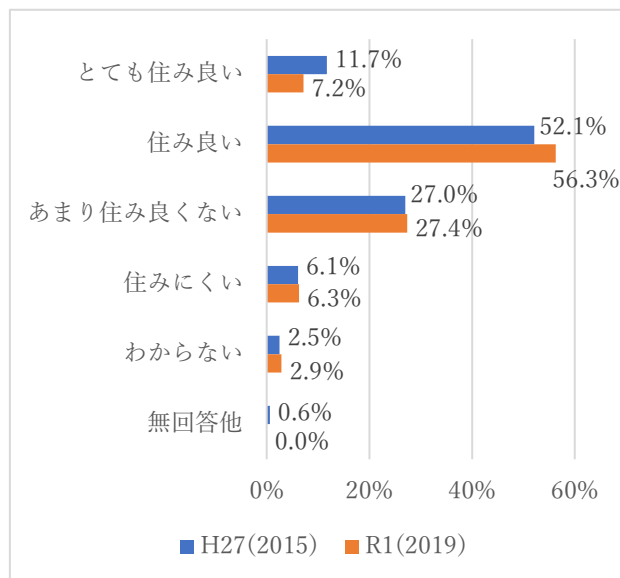


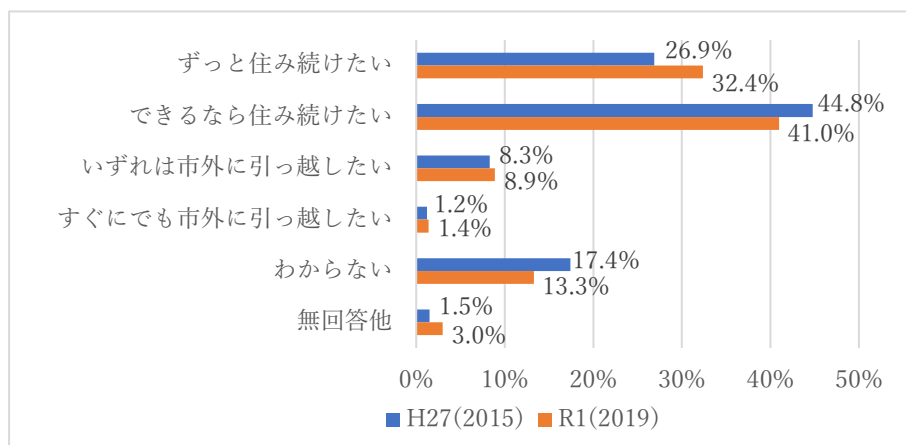
図 2-3 住み心地（学生）



(3) 射水市での継続居住意向

- ・市民アンケートにおける「住み続けたい」という回答は73.4%。

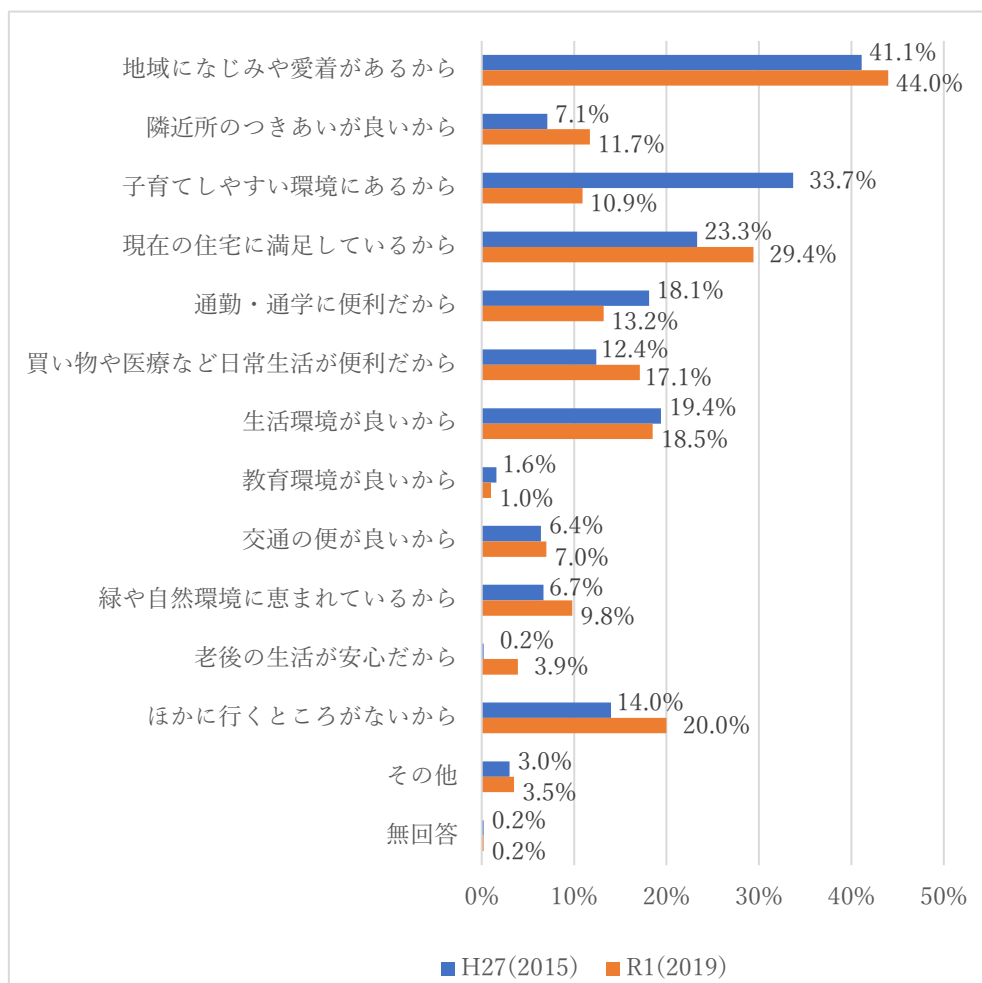
図 3 継続居住意向（市民）



(4) 継続居住を希望する理由

- ・市民アンケートにおいて「地域になじみや愛着があるから」、「現在の住宅に満足しているから」という回答が多い。
- ・「子育てしやすい環境にあるから」という回答が減少し、「現在の住宅に満足しているから」、「買い物や医療など日常生活が便利だから」の回答が増加している。

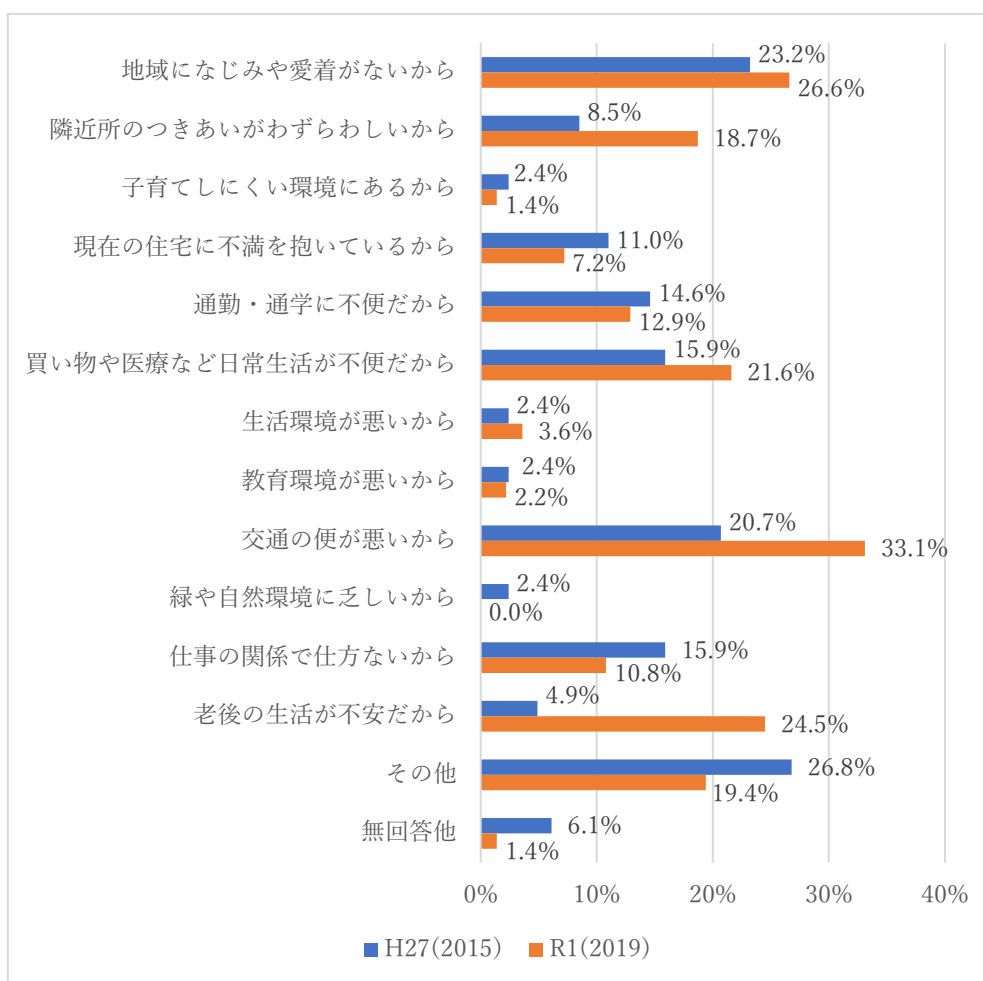
図4 継続居住を希望する理由（市民）



(5) 転居を希望する理由

- ・市民アンケートにおいて「交通の便が悪いから」、「地域になじみや愛着がないから」という回答が多い。
- ・「老後の生活が不安だから」の回答が増加し、「仕事の関係で仕方ないから」、「現在の住宅に不満を抱いているから」という回答が減少している。

図5 転居を希望する理由（市民）



(6) 高校生の進学希望先の所在地、進学先の選択理由

- ・東京圏を希望する回答が13.5%増加している。

図 6-1 高校生の進学希望先の所在地

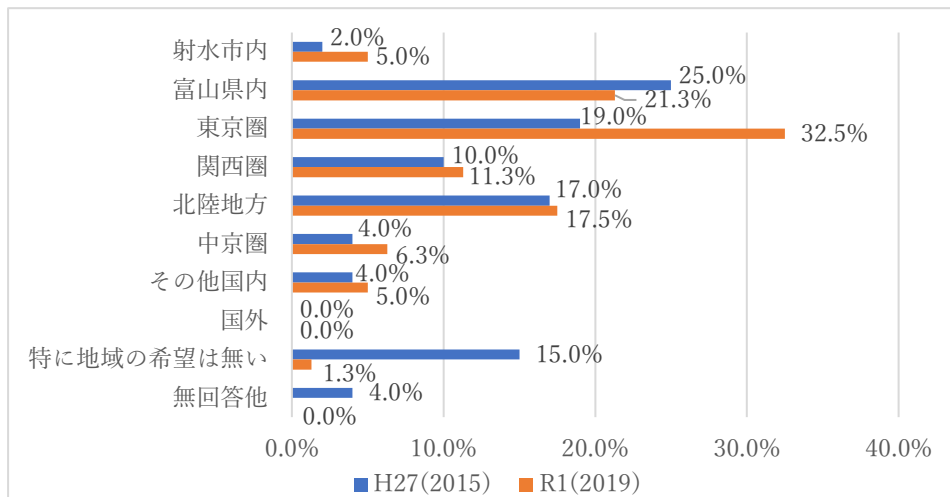
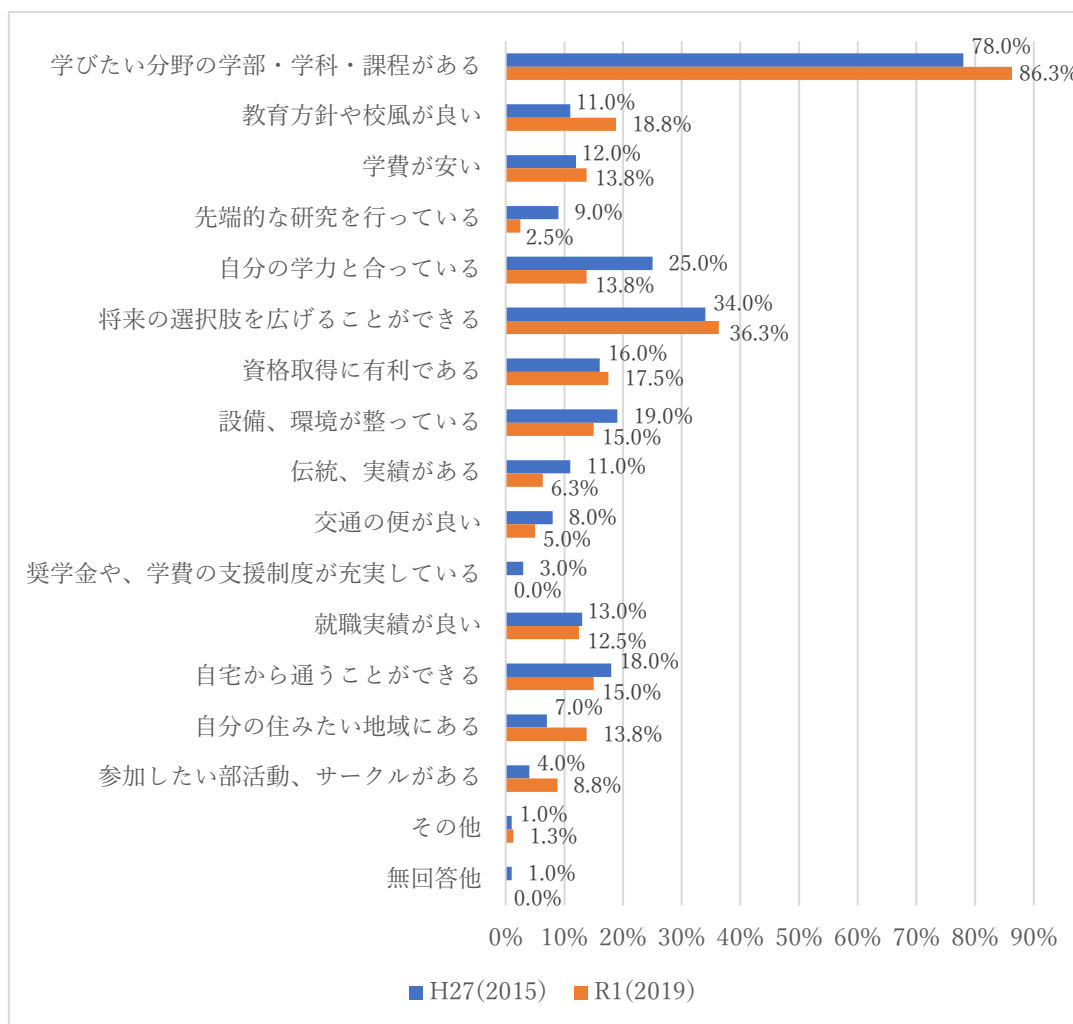


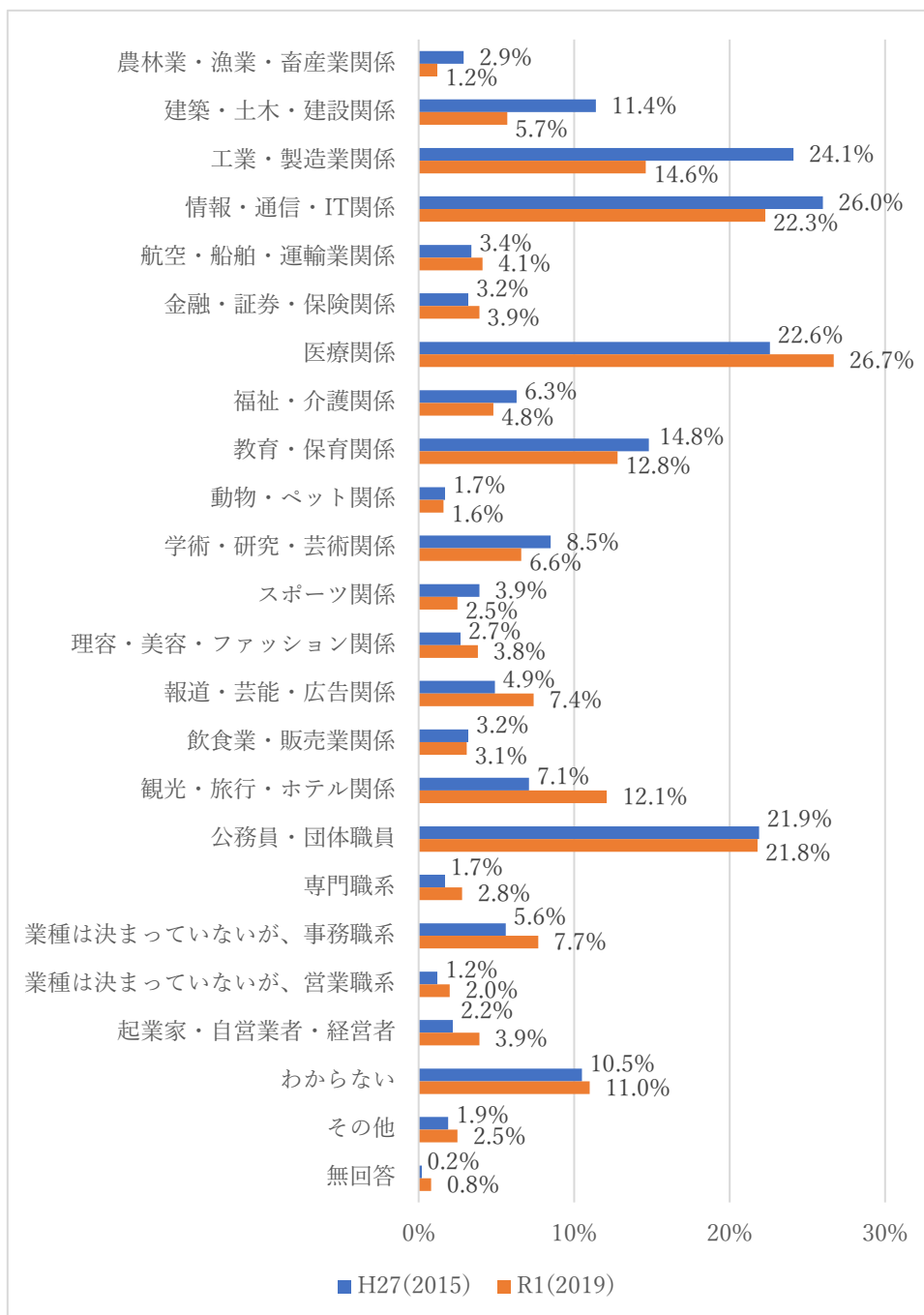
図 6-2 進学希望先の選択理由



(7) 学生の就職希望業種、就職希望地域

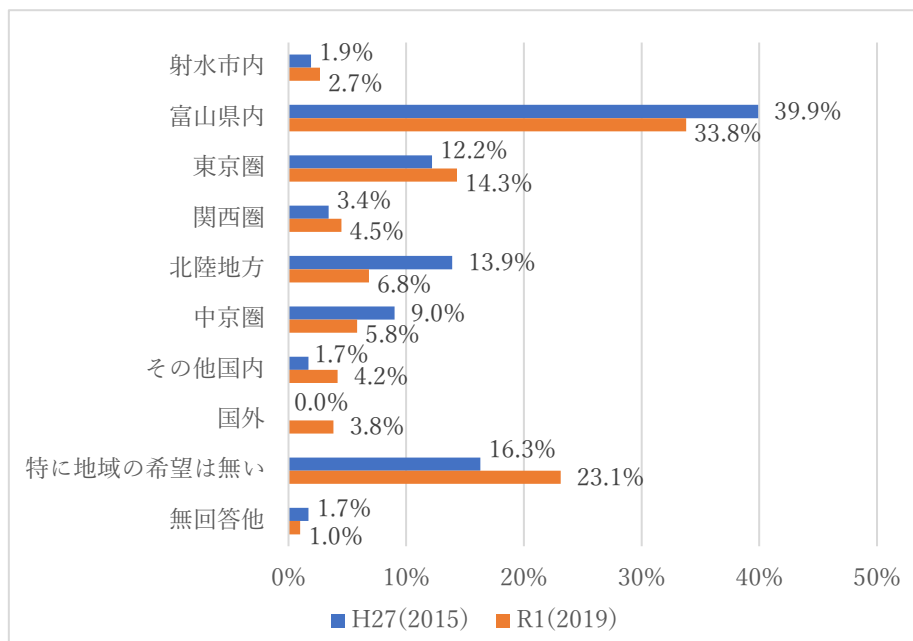
・「情報・通信・IT関係」「医療関係」「公務員・団体職員」の回答が多い。

図7-1 学生の就職希望業種



- ・就職希望地域について、射水市含め富山県内出身の学生が多いことから、県内就職の傾向が強い。
- ・「特に地域の希望はない」と回答する学生が増加している。

図 7-2 学生の就職希望地域



(8) 結婚希望

- ・市民アンケートにおいて「現在結婚している」、「具体的な結婚の予定がある」、「いずれは結婚したい」のいずれかを回答したのは全体の83.0%。
- ・「結婚するつもりはない」、「わからない、関心がない」の回答が増加している。
- ・学生アンケートでは「25歳までに結婚したい」の回答が減少し、「30歳までに結婚したい」、「いずれ結婚したいが、時期はわからない」の回答が増加している。

図 8-1 結婚希望（市民）

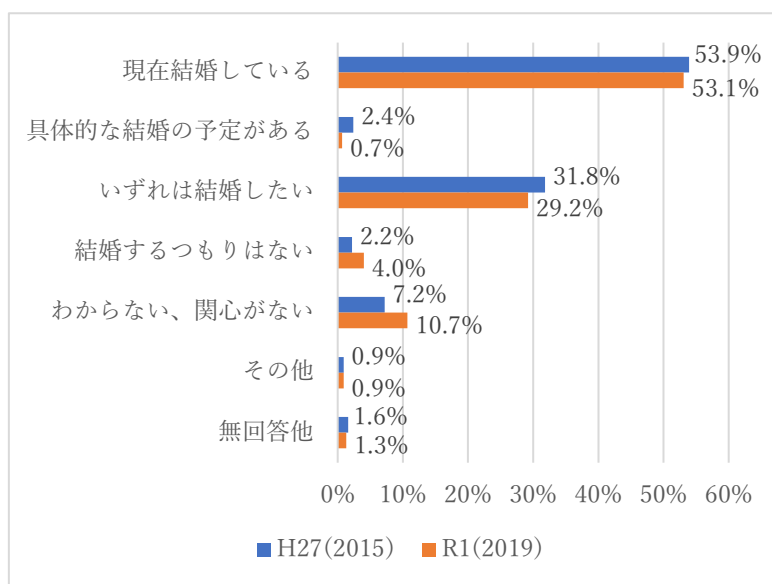
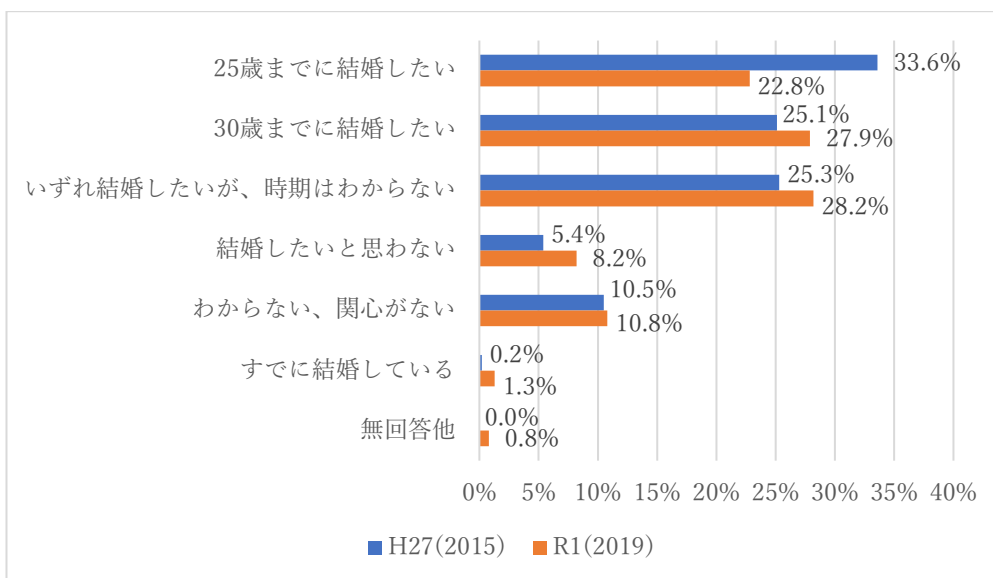


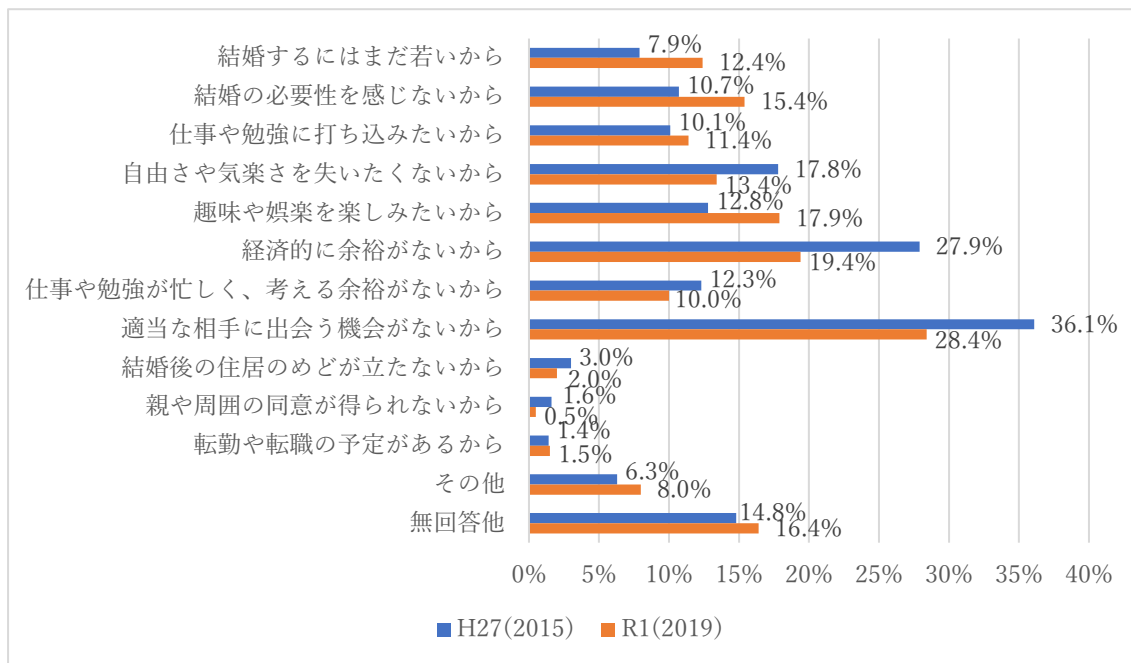
図 8-2 結婚希望（学生）



(9) 結婚しない理由

・「適当な相手と出会う機会がない」が最も多く、次いで「経済的余裕がない」「趣味や娯楽を楽しみたい」が多い。

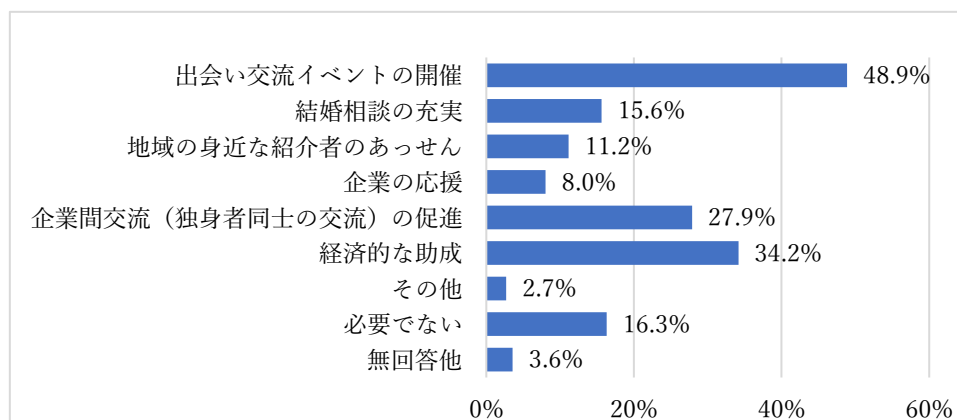
図9 結婚しない理由



(10) 必要な婚活支援

・「出会い交流イベントの開催」「経済的な助成」の回答が多い。

図10 必要な婚活支援



(11) 理想の子ども数

- ・市民アンケートでは、理想の子ども数で「2人」をあげた人の割合が46.9%と最も多く、次いで「3人」が39.4%、「4人」が5.4%、「1人」が2.9%となっている。これに対し、現実に子育て可能な子ども数をきくと、「2人」が58.1%、「3人」が18.7%、「1人」が11.2%、「4人」が3.7%となっている。
- ・高校生アンケートでは、「4人」の割合が43.3%と最も多く、「3人」が14.4%と続いている。
- ・学生アンケートでは、「2人」の割合が43.9%と最も多く、「3人」が13.4%と続き、高校生よりは現実的な回答をしているように見受けられる。

図 11-1 理想の子ども数と現実に子育て可能な子ども数

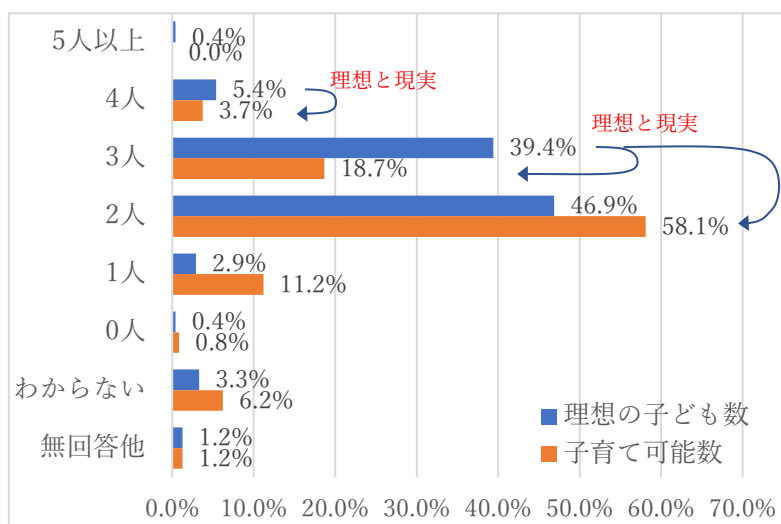


図 11-2 理想の子ども数 (高校生)

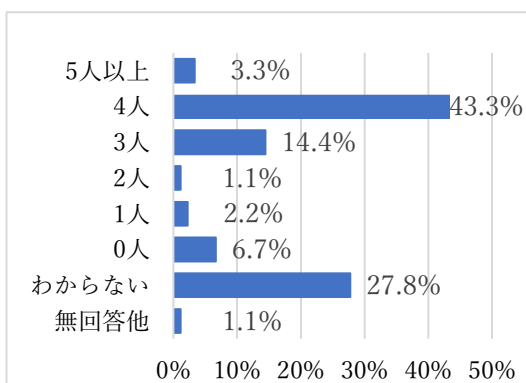
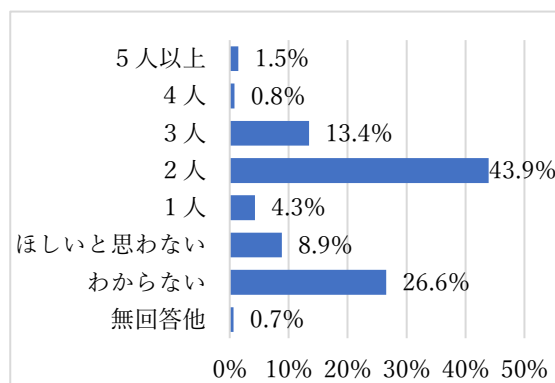


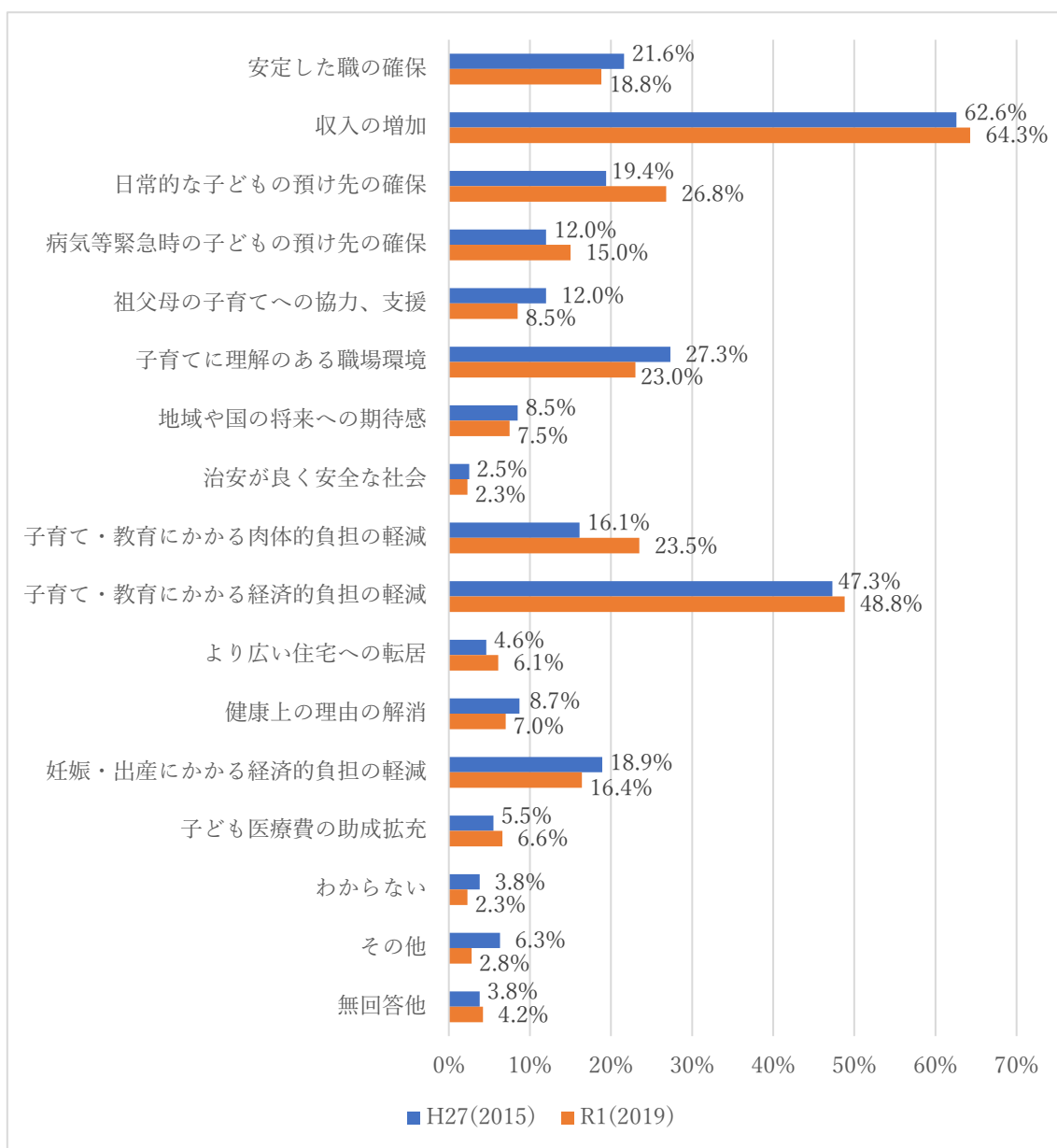
図 11-3 理想の子ども数 (大学生)



(12) 理想の子ども数を実現するために必要なこと

- ・「収入の増加」、「子育て・教育にかかる経済的負担の軽減」が多い。
- ・「日常的な預け先の確保」、「子育て・教育に係る肉体的負担の軽減」の回答が増加している。

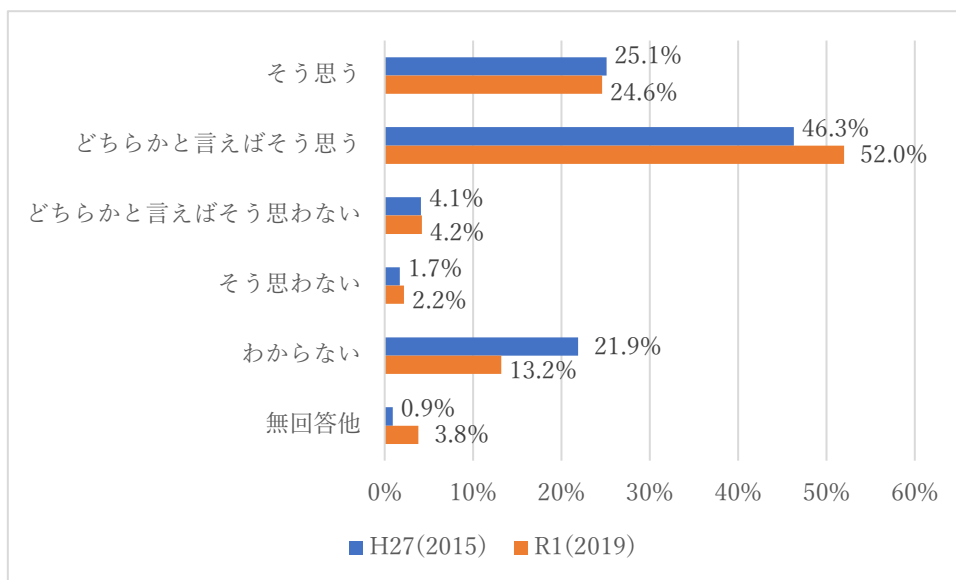
図 12 理想の子ども数を実現するために必要なこと（市民）



(13) 射水市に対する子育てしやすさの評価

・「射水市が子育てしやすいまちか」という設問に対し、肯定的な評価の割合が76.6%と高く、これまでの子育て施策に対しての評価が表れたものと考えられる。

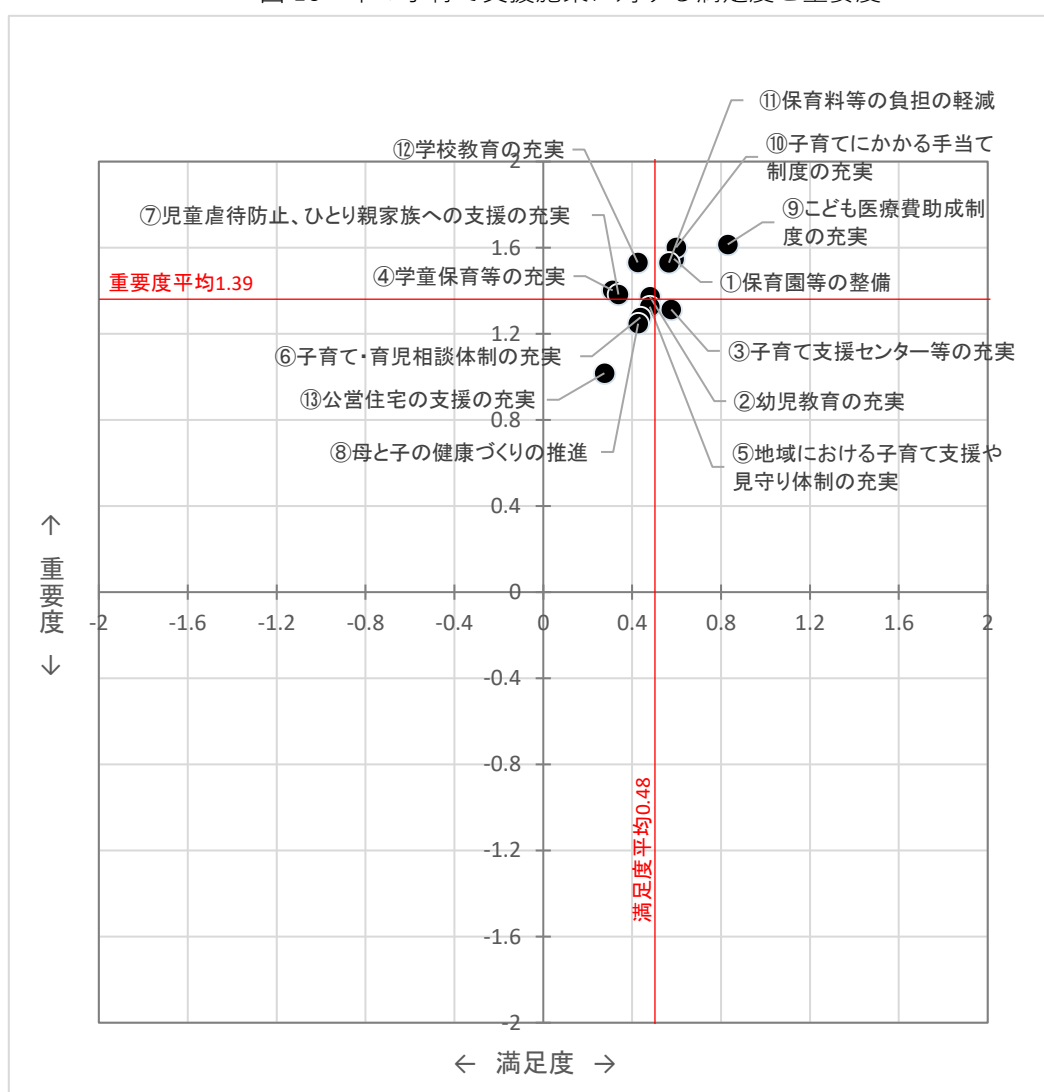
図13 射水市に対する子育てしやすさの評価



(14) 市の子育て支援施策に対する満足度と重要度

- ・満足度、重要度がともに高いものとして「こども医療費助成制度の充実」、「子育てにかかる手当て制度の充実」、「保育園等の整備」、「保育料等の負担の軽減」があげられている。このように、市民は子育て支援策の中でも経済的支援策及び就労に伴う保育先の確保について、ある程度満足しているものの、施策の一層の充実を望んでいることがわかる。
- ・満足度、重要度ともに肯定的な回答であり、今後も引き続き子育て支援策の充実を図る必要がある。

図 13 市の子育て支援施策に対する満足度と重要度



(15) 市政において重視すべき SDGs

- ・いずれのアンケートにおいても「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」の回答が多い。
- ・「海の豊かさを守ろう」がすべてにおいて上位であり、射水市が海と深い関わりをもつまちである認識が強いことがわかる。

図 14 市政において重視すべき SDGs

